

平成28年度
第2回広島県道徳教育研究協議会
実践報告



平成29年2月10日（金）
安芸太田町立筒賀中学校 研究主任 福田祐子



- (1) 本中学校区の特徴
- (2) 研究の概要と具体的な取組
- (3) 実践の検証

【本中学校区の特徴】

▶ 学級編成

学級	小学校					中学校		
	1	2	3・4	5・6	1	2	特支	
学年	1	2	3	4	5	6		
人数	9	5	5	4	4	5	3 2	
合計	32					10		



児童生徒の実態【平成28年度4月実施調査より】

- ▶ 「道徳の時間」は、ためになると思う。
92.3%（肯定的回答）
- ▶ 「道徳の時間」で勉強したことを自分の生活にいかしている。
76.9%（肯定的回答）

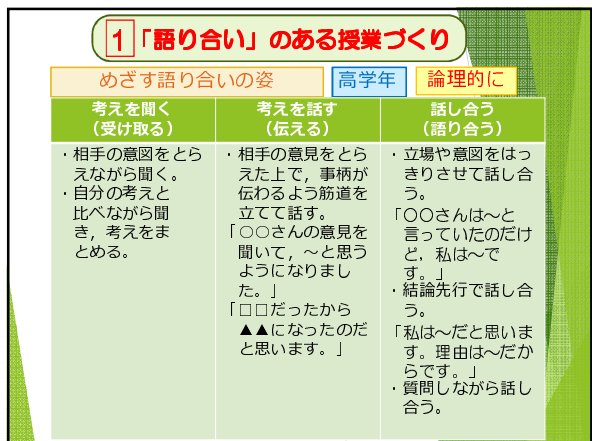
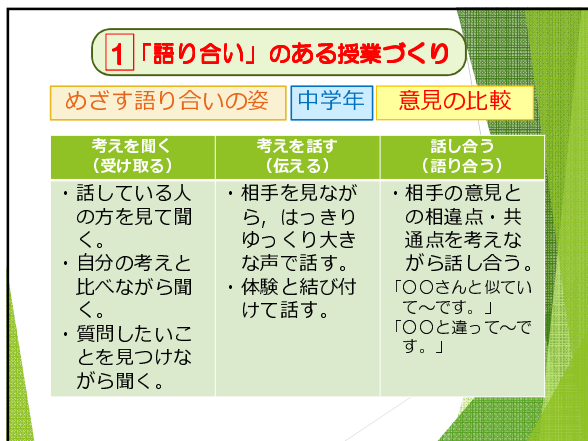
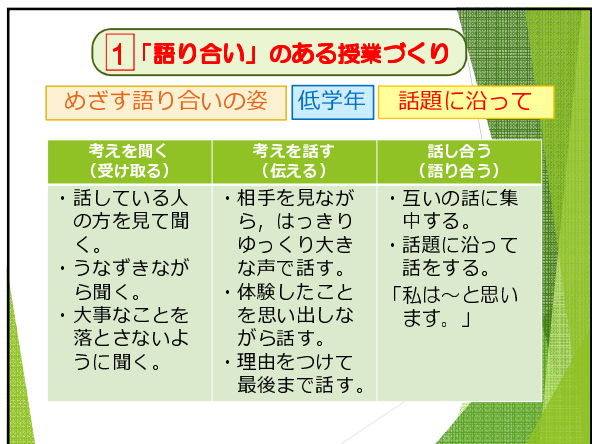
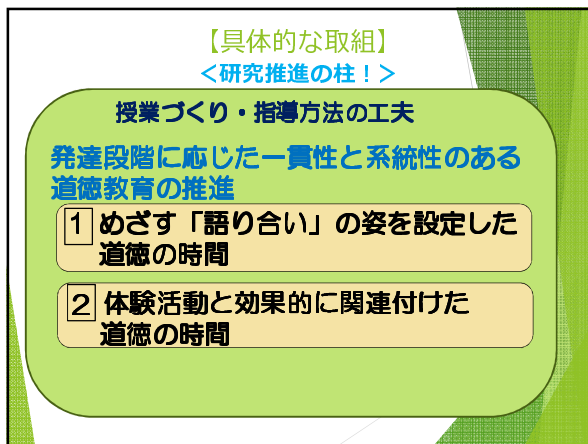
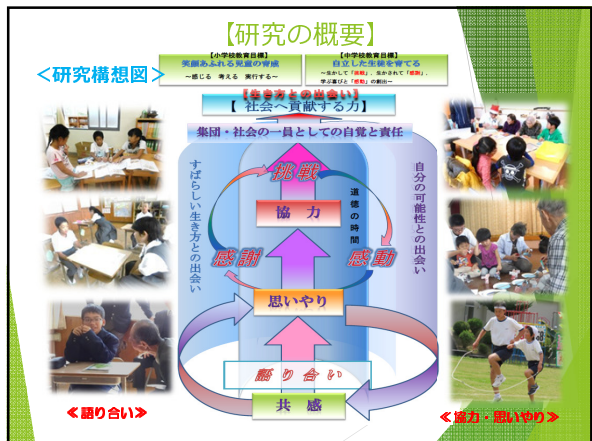
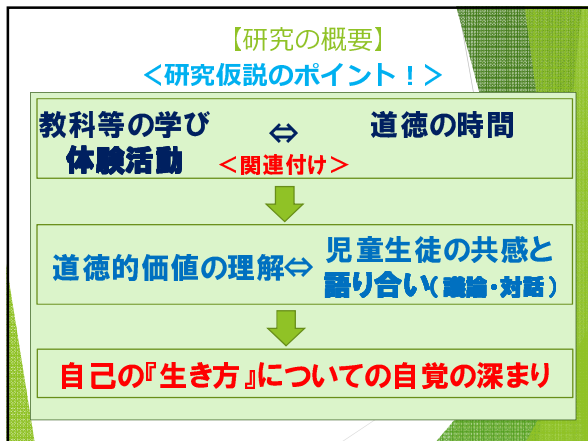
→ 道徳の時間での学びが自分の生活に十分つながっていない

【研究の概要】

<研究主題>

「学び」を「生き方」につなぐ
道徳教育の創造

～共感と感動と語り合いのある道徳の時間を通して～



1 「語り合い」のある授業づくり

めざす語り合いの姿 **中学生** 関連をもたせて

考えを聞く (受け取る)	考えを話す (伝える)	話し合う (語り合う)
<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って、自分の考えと比べながら聞き、考えをまとめる。 相手の意見に補いたいことや、質問したいことを見つめながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見を聞き、自分の意見を広げたこと、考えたことについて根拠を示しながら話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見と自分の意見を関連させながら話し合う。

1 「語り合い」のある授業づくり

4つの工夫！

- ① 発問の工夫
- ② 場の工夫
- ③ 教材・教具の工夫
- ④ 板書の工夫

1 「語り合い」のある授業づくり

① 発問の工夫

- 児童・生徒を見取ることができる中心発問
- 「なぜ？」 「どうして？」 の繰り返し発問

1 「語り合い」のある授業づくり

② 場の工夫

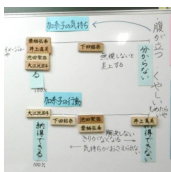
お互いの顔を見ての語り合い！



1 「語り合い」のある授業づくり

③ 教材・教具の工夫

- ワークシートの工夫
- ネームプレートの活用

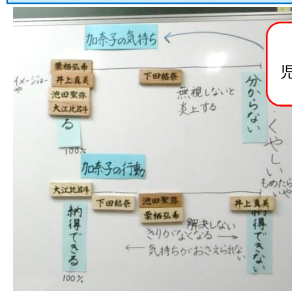


ネームプレートの使用
児童生徒の思考の可視化！

1 「語り合い」のある授業づくり

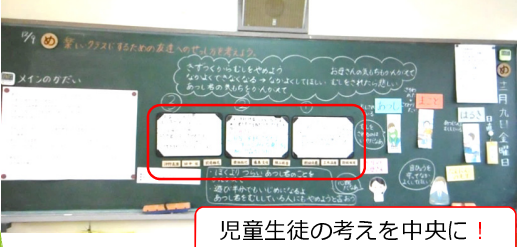
③ 教材・教具の工夫

ネームプレートの使用
児童生徒の思考の可視化！



1 「語り合い」のある授業づくり

④ 板書の工夫



児童生徒の考えを中央に！

<筒賀小・中授業づくりシステム>

① 模擬授業



他の教員が
児童生徒役に！

<筒賀小・中授業づくりシステム>

① 模擬授業



<筒賀小・中授業づくりシステム>

① 模擬授業

↓

② 授業実践




先生方を
お招きして
本番授業！

<筒賀小・中授業づくりシステム>

② 授業実践



<筒賀小・中授業づくりシステム>

① 模擬授業

↓

② 授業実践

↓

③ 授業検討会





<筒賀小・中授業づくりシステム>

③ 授業検討会



2 体験活動を効果的に関連付けた指導方法の工夫

年間計画 1学期

月	小学校	中学校	共通	道徳の時間
4	・入学式 ・動物愛護教室 (1・2年)	・入学式		4- (4) 1年生になっちゃよ (小1) 1- (5) ぼくの性格をつくった友人 (中1)
5	・修学旅行 (6年) ・田植え体験 (5・6年)	・中高合同合宿 (3年)	・保小中合同運動会 (地域住民・高齢者交流)	3- (2) こうえんの見はりばん (小2) 2- (3) 友の命 (小5・6) 4- (7) 白神山 (小5・6) 2- (6) 土曜日の朝に (中3)
6			・小中合同救急法講習会	3- (1) コースチャ坊やを教え (小5・6)
7	・江田島合同合宿 (5年) ・高齢者との交流 (1・2年)			2- (3) 知らない間の出来事 (小5・6) 2- (2) よかったね、さっちゃん (小1) 2- (2) くまのたからもの (小2)

2 体験活動を効果的に関連付けた指導方法の工夫

年間計画 2学期

月	小学校	中学校	共通	道徳の時間
8		・職場体験学習 (2年)		4- (5) アキラのくじ運 (中2)
9	・防災教室 (全) ・つづがふれあいデー (全) ・社会学 (全) ・動物愛護教室 (3・4年)	・三中合同江田島合宿 (1年)	・しわいマラソンボランティア活動 (地域貢献活動)	3- (1) どきどき どきんぐ (小1) 4- (5) お父さんのお弁当 (小5・6) 4- (1) きらいいベンチ (小2) 2- (2) こめいね、カレー (小3・4) 2- (3) 雨の日の届け物 (中1)
10	・山奥郡陸上記録会 (5・6年) ・動物愛護教室 (5・6年) ・学習発表会 (全) ・マラソン大会	・三中合同文化祭 (全)		1- (2) ベートーベン (小5・6) 3- (1) 東京大空襲の中で (小5・6)
11	・ふるさとまつり(小)分り活動	・三中合同修学旅行 (2年) ・ふるさとまつり(中)分り活動	・ふるさとまつり(学校活動の地域公開)	1- (2) こくまのらっぱ (小1) 1- (2) 運あがりできた (小2) 1- (2) まげるものか (小3・4) 2- (3) 律子と敏子 (中2)
12	・収穫祭 (全)	・生徒会選挙 (全)	・中学校体験入学	3- (2) いなくなつたライチヨウ (小3・4) 4- (7) 二枚の写真 (中1)

2 体験活動を効果的に関連付けた指導方法の工夫

年間計画 3学期

月	小学校	中学校	共通	道徳の時間
1	・スキー教室	・安芸太田町立志式 (三中2年) ・スキー教室	・道徳教育研究会	3- (3) みずたまり (小1) 3- (2) ぼくが大きくなったらね (小2) 1- (1) オレと孝一 (中2)
2	・入学説明会	・社会見学 ・3年生を送る会	・教えて先輩	2- (7) 人のフリみて (中1)
3	・6年生を送る会 ・卒業証書授与式	・卒業証書授与式		1- (6) 感動したこと、それがぼくの作品 (小5・6) 1- (5) 小さな手鏡 (中3)

2 体験活動を効果的に関連付けた指導方法の工夫

「小中合同プログラム」の実施概要

道徳的価値の設定 (明確化) 責任!

事前アンケート 希望!

体験活動 (⇔道徳の時間)

道徳の時間 (⇔体験活動)

事後アンケート 感謝!



2 体験活動を効果的に関連付けた指導方法の工夫

「小中合同プログラム」の実施概要

《年3回実施》


- ① 保小中合同運動会
- ② 保小合同学習発表会
三合同文化祭
- ③ しわいマラソン
ボランティア活動



「小中合同プログラム」の実際

深めたい道徳的価値の設定

体験活動：しわいマラソンボランティア活動
道徳の時間：内容項目「思いやり」



しわいマラソン実行委員会
事務局長 大江さん

困ったなあ…?!
高齢者の多い実行委員だけでは、細かいところまでそうじができません...

「小中合同プログラム」の実際

事前アンケート

生徒の記述より（事前）

困っている人を見かけると、
「あっ、あの人が困っている」
「人に助けを求めている」と
思います。

「小中合同プログラム」の実際

体験活動

6年生のみんな！
一緒に行動しましょう！

思いやりの心

よし！
全児童で中学生と一緒に行動しよう！

共感！

小学生への呼びかけ

全児童への呼びかけ




「小中合同プログラム」の実際

体験活動

児童生徒全員で
ボランティア活動

協力！

地域の人からの感謝



「小中合同プログラム」の実際

道徳の時間

小学校3・4年生
主題名：思いやる心を親切な行為に
資料名：「なにかお手つだい
できることはありますか？」

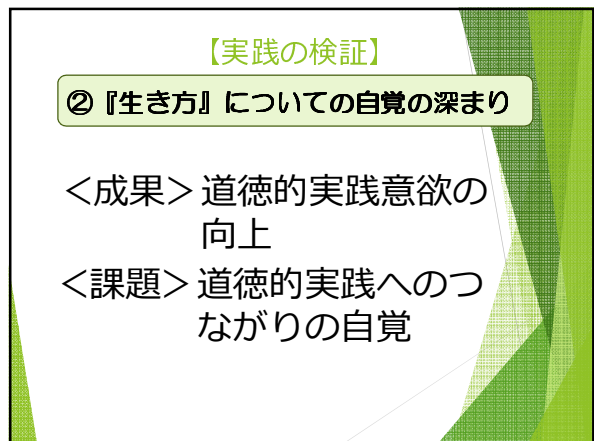
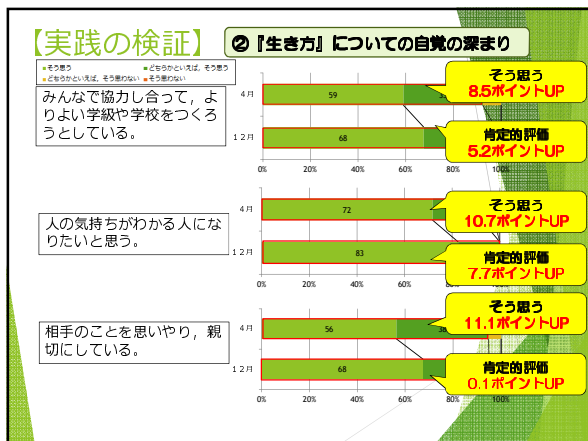
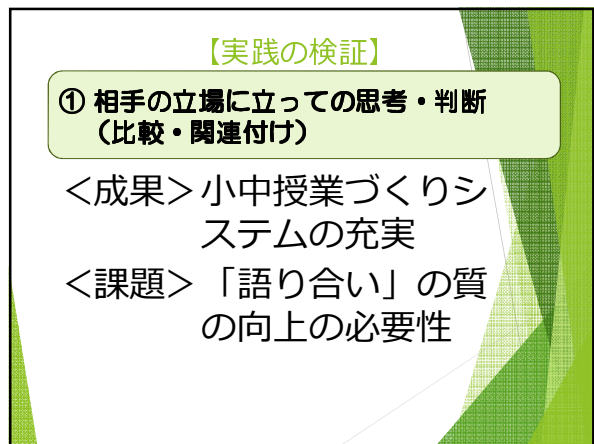
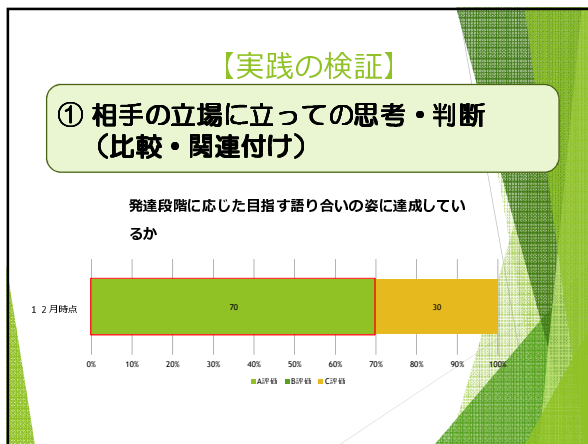
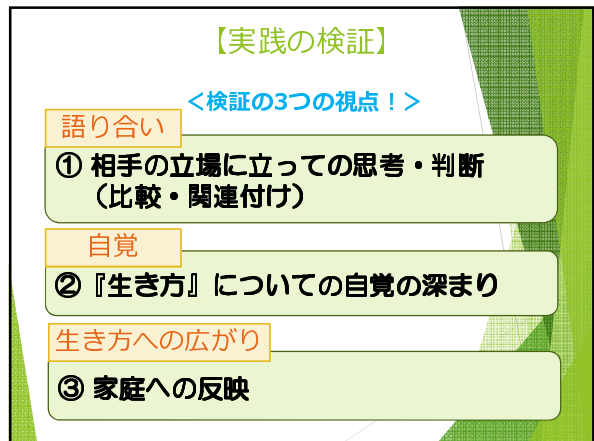
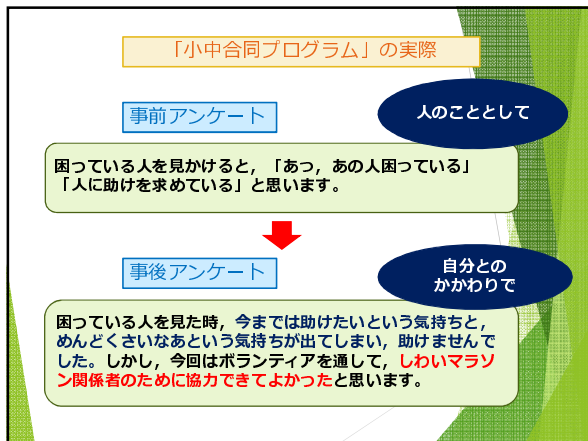
感謝の声

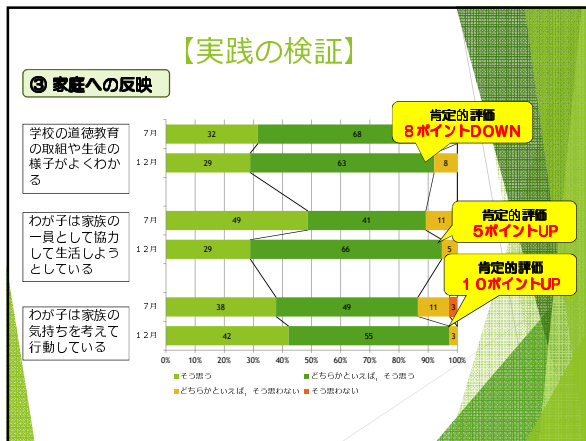


「小中合同プログラム」の実際

道徳の時間

学級	主題名/資料名
小学校 1年生	あたたかい心で親切に 2 - (2) 思いやり・親切 / 「はしのうえのおおかみ」
小学校 2年生	温かい やさしさ 2 - (2) 思いやり・親切 / 「くまくんの たからもの」
小学校 3・4年生	思いやる心を親切な行為に 2 - (2) 思いやり・親切 / 「なにかお手つだいできることはありますか？」
小学校 5・6年生	相手の立場に立って 2 - (2) 思いやり・親切 / 「最後のおくり物」
中学校 1年生	優しい心 2 - (2) 思いやり / 「おばあちゃんの指定席」
中学校 2年生	あたたかい人間愛 2 - (2) 思いやり / 「軽いやさしさ」





【実践の検証】

③ 家庭への反映

<成果> 家庭での道徳的实践

<課題> 情報発信が不十分

【成果と課題のまとめ】

家庭での道徳的实践につながった。児童生徒に道徳的实践につながっているという自覚を十分にもたせていない。

- 【今後に向けて】
- ① 相手の立場に立っての思考・判断 (比較・関連付け)
 - ➡ ○語り合いの質の向上
 - ② 『生き方』についての自覚の深まり
 - ➡ ○道徳的实践へのつながり
 - ③ 家庭への反映
 - ➡ ○情報発信の工夫

